

## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立盲	学校			
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
	単元(題材)名	県盲祭を振り返ろう					
	単元(題材)の目標	県盲祭を振り返り、達成感を得る。					
学習集団と実態	学部・学年・人数	中・高等	部	中2、高1、高3	年	9	人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 ・生徒によって見え方の実態(全盲、弱視、色覚等)が異なり、特に弱視の生徒数名はプロジェクターの映像を確認するのが難しい。					
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器(入出力支援装置等)名を記入する。 指導者: PC (パワーポイント)、大型電子黒板 生徒: iPad					
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Microsoft Temas					アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input type="checkbox"/> 学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 )					
	ICT活用のねらい	・指導者が全体に表示している画面を共有により複数の iPad に表示し、弱視の生徒が手元で動画やプレゼンテーション資料を確認することができるようにする。 ・オンライン会議用のアプリケーションを使用することで、指導者の機器操作をそのまま生徒端末の画面に反映させることが可能である。また、接続台数や指導者が使用する機器も自由度が高い。					
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ・使用する生徒へは事前に「手元でも画面を確認することができる」という旨を伝え、電子黒板の映像を見るか、手元の iPad を見るか自分で選択できるようにした。 ・基本的な機器操作(音声、カメラのOFF等)は事前に教師が行った。 ・生徒の機器操作については、通常のインターネット閲覧時同様、ピンチイン、ピンチアウトによる拡大、縮小が使用できることを事前に確認したことで、生徒それぞれが見え方や場面に応じて適宜拡大、縮小しながら画面を確認することができた。						

